附　編

岡山大学構内埋蔵文化財保護対策要項

1．岡山大学埋蔵文化財調査研究センターの内部規程

(1)　岡山大学埋蔵文化財調査研究センター規程

昭和62年11月26日岡山大学規程第48号

改正　平5．2．25規程4号
平7．3．31規程19号
平12．3．31規程38号

（設置）

第1条　岡山大学（以下「本学」という。）に岡山大学埋蔵文化財調査研究センター（以下「センター」という。）を置く。

（目的）

第2条　センターは、本学の敷地内の埋蔵文化財について、次の各号に掲げる業務を行い、もって埋蔵文化財の保護を図ることを目的とする。

一　埋蔵文化財の発掘調査に関すること。

二　発掘された埋蔵文化財の整理および保存に関すること。

三　埋蔵文化財の発掘調査報告書の作成等に関すること。

四　その他埋蔵文化財の保護に関する重要な事項。

（自己評価等）

第2条の2　センターは、岡山大学学則（平成6年岡山大学規程第64号）第2条の定めるところにより、センターに係る点検及び評価（以下「自己評価」という。）を行い、その結果を公表する。

2　前項の自己評価については，本学の職員以外の者による検証を受けるよう努めるものとする。

3　第1項の自己評価を行うため、岡山大学埋蔵文化財調査研究センター自己評価委員会（以下「自己評価委員会」という。）を置く。

4　自己評価委員会に関し、必要な事項は、別に定める。

（教育研究等の状況の公表）

第2条の3　センターは、教育研究及び組織運営の状況等について、定期的に公表する。

（センター長）

第3条　センターにセンター長を置く。

2　センター長は、専門的知識を有する本学の専任教授のうちから学長が命ずる。

3　センター長は、センターに関する業務を掌理する。

4　センター長の任期は、2年とし、再任を妨げない。

（調査研究室）

第4条　センターにセンターの業務を処理するため調査研究室を置く。

2　調査研究室に室長、調査研究員及びその他必要な職員を置く。

3　室長は、専門的知識を有する本学の専任教官のうちから学長が命ずる。
4　室長は、センター長の命を受け、センターの業務を処理する。
5　室長の任期は２年とし、再任を妨げない。
6　調査研究員及びその他の職員は、上司の命を受け、センターの業務に従事する。

（調査研究専門委員）

第５条　センターに、センターの業務のうち特に専門的な事項についての調査研究の推進を図るため、調査研究専門委員（以下「専門委員」という。）を置く。
2　専門委員は、本学の専任教官のうちから学長が命ずる。
3　専門委員の任期は、２年とし、再任を妨げない。

（管理運営の基本方針等）

第６条　センターの管理運営の方針等は、岡山大学部局長会で審議する。

（運営委員会）

第７条　センターに、センターの運営に関する具体的な事項を審議するため、岡山大学埋蔵文化財調査研究センター運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。
2　運営委員会に関し、必要な事項は別に定める。

（事務）

第８条　センターの事務は、施設部企画課において処理する。

（雑則）

第９条　この規則に定めるもののほか、センターに関し必要な事項は、学長が別に定める。

附　則

1　この規程は、昭和62年11月26日から施行する。
2　この規程施行後最初に任命されるセンター長。室長及び専門委員の任期は、第３条４項、第４条第５項及び第５条第３項の規程にかかわらず、昭和64年３月31日までとする。

附　則

この規程は、平成５年５月25日から施行する。

附　則

この規程は、平成７年４月１日から施行する。

附　則

この規則は、平成12年４月１日から施行する。

(2)　岡山大学埋蔵文化財調査研究センター運営委員会規程

昭和62年11月26日岡山大学規程第50号

改正　平12．３．31規程93号

（趣旨）

第１条　この規程は、岡山大学埋蔵文化財調査研究センター規則（昭和62年岡山大学規程第48号）第７条第２項の規程に基づき、岡山大学埋蔵文化財調査研究センター運営委員会（以下「運営委員会」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

（審議事項）

第２条　運営委員会は、岡山大学埋蔵文化財調査研究センター（以下「センター」という）の運営に関する具体的な事項を審議する。

（組織）

第３条　運営委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

一　埋蔵文化財調査研究センター長（以下「センター長」という。）

二　本学の教授のうちから学長の命じた者若干名

三　センターの調査研究専門委員のうちから学長の命じた者１人

四　センターの調査研究室長

五　施設部長

２　前項第２号の委員の任期は、１年とし、再任を妨げない。

（委員長）

第４条　運営委員会に委員長を置き、センター長をもって充てる。

２　委員長は、運営委員会を招集し、その議長となる。

３　委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

（委員以外の者の出席）

第５条　委員長が必要と認めたときは、委員会以外の者の出席を求め、その意見を聞くことができる。

（庶務）

第６条　運営委員会の庶務は、施設部企画課において処理する。

附　則

１　この規程は、昭和62年11月26日から施行する。

２　この規程施行後最初に任命される第３章第１項第２号の委員の任期は、同条第２項の規程にかかわらず、昭和64年３月31日までとする。

附　則

この規程は、平成12年４月１日から施行する。

⑶　岡山大学埋蔵文化財調査研究センター自己評価委員会規程

平成５年２月25日岡山大学規程第５号

改正　平12．３．31規程94号

（趣旨）

第１条　この規程は、岡山大学埋蔵文化財調査研究センター（昭和62年岡山大学規程第48号）第２条の２第４項の規程に基づき、岡山大学埋蔵文化財調査研究センター自己評価委員会（以下「委員会」という。）の組織および運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

（審議事項）

第２条　委員会は、岡山大学埋蔵文化財調査研究センター（以下「センター」という。）に係わる点検及び評価の実施並びにその結果の公表に関し、必要な事項を審議する。

（組織）

第３条　委員会は、次の各号に掲げる者で組織する。

一　埋蔵文化財調査研究センター長（以下「センター長」という。）

二　埋蔵文化財調査研究センター調査研究室長

三　センターに勤務する教官のうちから若干名

四　埋蔵文化財調査研究センター運営委員会委員のうちからセンター長が委嘱した者若干名

五　施設部長

3　前項に定める委員のほか、センター長が必要と認めた者を加えることができる。

（委員長）

第４条　委員会に委員長を置き、センター長をもって充てる。

（会議）

第５条　委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

2　委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代行する。

（庶務）

第６条　委員会の庶務は、施設部企画課において処理する。

（雑則）

第７条　この規程に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、別に定める。

附　則

この規程は、平成５年２月25日から施行する。

附　則

この規程は、平成12年４月１日から施行する。

２．2001年度埋蔵文化財調査研究センター組織

(1)　センター組織一覧

〈埋蔵文化財調査研究センター長〉

（併・文学部教授）稲田孝司

運営委員会

〈調査研究専門委員〉

（大学院自然科学研究科）千葉喬三

〈調査研究室長〉

（専・文学部助教授）山本悦世

〈調査研究員〉

（専・文学部助手）岩崎志保、忽那敬三、高田浩司、野崎貴博、光本　順、横田美香

（技術補佐員）伴　祐子

（補助員）井口三智子、片山純子、黒藪美代子

(2)　運営委員会

委員

センター長	稲田　孝司	文学部教授	新納　泉
文学部教授	久野　修義	大学院自然科学研究科	柴田　次夫
大学院医歯学総合研究科	村上　宅郎	事務局	森内　壽一
環境理工学部教授	名合　宏之		
大学院自然科学研究科	千葉　喬三（調査研究専門委員）		
埋蔵文化財調査研究センター	山本　悦世（調査研究室長）		

3．2001年度審議・決定事項

2001年５月24日　平成12年度決算及び平成13年度予算案について
平成13年度事業計画について
技術補佐員の採用について
鹿田遺跡第12次発掘調査概要報告
2002年２月８日　平成14年度予算案について
平成15年度概算要求について
運営委員会委員の任期について
技術補佐員の採用について
発掘調査の予定について
津島岡大遺跡第26次発掘調査概要報告
第５回岡山大学キャンパス発掘成果展について

4．岡山大学構内遺跡の発掘調査にかかわる安全管理事項

岡山大学構内遺跡の発掘調査にかかわる安全管理事項

平成12年５月15日
埋蔵文化財調査研究センター長
施　設　部　長

Ⅰ　請負業者が留意すべき事項

1．請負業者は現場代理人を発掘作業の現場に常駐させ、作業員の安全と健康の管理につとめること。
2．発掘作業の現場に「地山掘削」と「土止め支保工」の技能講習修了者をおき、作業員の安全や健康にも注意すること。
3．工事用電力の保安責任者をおくこと。
4．非常停止装置を備えたベルトコンベアーを用いること。
5．重機の運転は、免許所有者がおこなうよう厳守させること。

Ⅱ　発掘現場で注意すべき事項

1　服装・装備・用具等
1）安全で機能的な服装にする。
2）平坦面から２m以上の穴等を掘削する場合は、ヘルメットを着用する。
3）ベルトコンベアーの移動時および周辺での作業の際には、ヘルメットを着用する。
4）グラインダーを使用する際は、手袋・防護眼鏡を着用する。
5）スコップ・草削りなどの用具は、危険がないように使用方法や置き方や保管方法に十分注意する。

2　掘削
1）のり面の角度
造成土：通常の土壌の場合は50～60度とし、これを確保できない場合は土止め等の手当をおこなう。砂地の造成土の場合は35度とし、これを確保できない場合は土止め等の手当をおこな

う。

堆積土：基本75度とし、状況や土質に応じて安全な角度をとる。

発掘区の壁際を深さ1.5m 以上掘削する場合は、原則として途中で段を設ける。その場合の段の巾は、60cm 以上とする。

2）のり面の保護

のり面はシート等で覆うなどし、崩落防止のために必要な保護措置をとる。

3）深い遺構（深さ1.5m 以上の遺構）

遺構掘削者以外の者が上面で安全確認を行い、十分な注意を払う。場合によっては周囲を広くカットして対応する。

なお、作業現場内への昇降のために、階段を設置する。

3　高所（高さ２m 以上の場所）での作業

1）作業中には安全帯を使用する。

2）架台を組んだ場合は最上段に手すりを設け、安全を確保する。

3）２段以上の架台は、分解して移動させる。

4　発掘用機械類の操作

（ベルトコンベアー・ポンプ等）

1）調査用電源の設置と取扱いについては、工事用電力の保安責任者が安全確認を行う。

2）ベルトコンベアー・水中ポンプ等の知識を持つ者が整備・稼働させる。

3）ベルトコンベアーを重ねたつなぎ目の部分には、なるべく土が落ちないような措置をする。

4）原則としてベルトコンベアーの直下での作業・通行を避ける。

5）ベルトコンベアーの移動時は作業員の中で指揮者を決め、周辺の安全性を確保したうえで移動させる。

（重機関係）

1）重機の免許所有者以外は運転しない。

2）運転者は、周囲の安全に注意する。

3）稼働中は、重機の旋回半径内に立ち入らない。

5　健康管理

1）作業中に体調が悪くなった場合は直ちに申し出る。

Ⅲ　その他

1）作業現場内の状況の変化に絶えず注意し、異常を発見したら、直ちに作業を中止して現場代理人に報告し、施設部の監督職員の指示を受ける。

2）調査区の状況や遺構などの特殊性・重要性等により、上記の２の１）～３）どおりに発掘作業を実施することが困難な場合は、現場代理人が監督職員と協議のうえ、安全に留意し作業を行う。

附　表

附表１　1982年度以前の構内主要調査（1980～1982年度）

年度	遺跡名調査地区名	種類	所属	調査名称	調査組織	調査面積（m²）	文献	備考
1980	鹿田	立会	歯	同附属病院棟新営	岡山市教育委員会	8		
1981	津島南 BD26	〃	農	寄宿舎新営	〃			
	津島北	〃	文法	合併処理槽施設	〃			
	津島北	〃	文法経	合併処理槽施設	〃			
	津島南　BD09 BC09～11	〃		基幹整備（共同溝取付）	〃			
	津島南　BD～BE04～07	〃		陸上競技場改修（配水管施設）	〃			
	鹿田	〃	医病	高気圧治療室新営	〃			
	〃	〃	〃	動物実験棟新営	〃　岡山県教育委員会			試掘調査をせず破残存壁面等の調査
	〃	〃	〃	病理解剖体臓器処理保管庫新営	岡山市教育委員会			
	〃	〃	医	運動場改修	〃			
1982	津島　AV06・10 AW05・14　AX08, BD07　BE10	試掘		排水基幹整備	〃			津島 AW14区で弥生時代包含層確認、協議
	小橋法目黒　津島北 AW14	発掘	法文	排水集中槽（NP－１）埋設	岡山大学	24.0	3	〈津島岡大第１次調査〉
	津島南	試掘	学生	武道館新営	岡山市教育委員会	2.3		
	津島北　AY15・16	〃	法経	校舎新営	〃	7.0		
	鹿田	〃	医	標本保存庫新営	岡山県教育委員会	8.0		
	〃	〃	医病	外来診療棟新営	〃岡山市教育委員会	4.0	2	
	〃	立会	医	動物実験施設関連排水管・ガス管埋設	岡山県教育委員会		1	
	鹿田　AE～AN22 AE22～26	〃	歯	電話ケーブル埋設	〃岡山市教育委員会 岡山大学埋蔵文化財調査室			

文献
1　光永真一「岡山大学医学部附属病院動物実施設新営工事に伴う排水管付設工事に伴う立会調査」『岡山県埋蔵文化財報告』13　1983　岡山県教育委員会
2　河本　清「岡山大学医学部附属病院外来診療棟改築に伴う確認調査」『岡山県埋蔵文化財報告』13　1983　岡山県教育委員会
3　吉留秀敏　岡山大学津島地区小橋法目黒遺跡（AW14区）の発掘調査　岡山大学構内遺跡発掘調査報告第１集　1985　岡山大学埋蔵文化財調査室

附表２　2000年度以前の構内主要調査（1983～2000年度）

附表２－（１）　発掘調査

総合番号	年度	番号	遺跡名	調査地区	所属	調査名称	調査期間	面積（m²）	概要	文献
2	1983・1984	9	鹿田	AU～BD28～40	医病	外来診療棟新営〈鹿田第１次調査〉	7.27～11.22 84.1.9～8.31	2188	弥生時代中期後半～中・近世集落址	7
3	1983	10	鹿田	BG～BI18～21	医病	NMR-CT 室新営 〈鹿田第２次調査〉	8.1～12.30	176	弥生時代後期～中世集落	7
10	1983	11	津島南	BE14・18　BF17・18　BG14 BH14・15	農	排水管埋設 〈津島岡大第２次調査〉	84.1.9～3.5	265	弥生時代早・前期集落址	4
10	1983	12	津島南	BH13	農	合併処理槽埋設 〈津島岡大第２次調査〉	11.14～11.22 84.1.9～3.5	276	弥生時代早・前期集落址	4
31	1986	1	鹿田	CN～CU27・28 CT～CY19～27 CX～DD16～25 DD～DG22・23	医短	校舎新営〈鹿田第３次調査〉	6.2～11.29	2390	古代～中世の集落址	10
36	1986	2	津島北	AV00　AW00・01	学生	男子学生寮新営 〈津島岡大第３次調査〉	12.1～87.6.18, 8.24～9.5	1550	縄文時代後期～弥生時代早期の河道、弥生時代の集落址・水田址、古代～近代の水田址	19
38	1986	3	津島南	BF・BG09	学生	屋内運動場新営 〈津島岡大第４次調査〉	87.1.19～1.22	70	弥生時代前期の溝，中世河道	6
52	1987	2	鹿田	BB～BH35～42	医病	管理棟新営〈鹿田第５次調査〉	10.6～88.3.2 88.3.23～3.31	1192	弥生時代中期後半～中・近世の集落址	24
54	1987	3	鹿田	DD～DF25 DG~DI27・28	医短	校舎周辺の配管 〈鹿田第４次調査〉	11.2～11.21	30	古代の河道	10
65	1988	1	津島北	AY06～08 AZ06・07	大自	自然科学研究科棟 〈津島岡大第５次調査〉	6.27～89.3.19	1537	縄文時代後期・弥生時代早期の貯蔵穴と河道・弥生時代～近世の水田址	27

総合番号	年度	番号	遺跡名	調査地区	所属	調査名称	調査期間	面積(m²)	概要	文献
67	1988	2	津島北	AV・AW04・05	工	生物応用工学科棟 〈津島岡大第6次調査〉	9.20～89.5.31	600	縄文時代後期・弥生時代早期の貯蔵穴と河道・弥生時代～近世の水田址	35
70	1988	3	津島北	AV・AW05・06	工	情報工学科校舎 〈津島岡大第7次調査〉	10.12～89.3.31	800	縄文後期・弥生時代早期集落址、弥生時代～近世水田址	35
65	1990	1	津島北	AY・AZ08	大自	自然科学研究科棟 〈津島岡大第5次調査〉	4.3～4.21	90	古墳時代後期の溝	27
92	1990・1991	2	鹿田	BW～CC67～71	ア	アイソトープ総合センター 〈鹿田第6次調査〉	11.20～91.6.301	690	弥生～古墳時代の溝・土壙，鎌倉時代の溝・井戸・建物群	40
96	1991	2	津島南	BD18・19	農	遺伝子実験施設 〈津島岡大第8次調査A地点〉	7.23～12.25	650	縄文時代の土壙・土器・石器他，弥生時代～近世の溝等	32
96	1991	3	津島南	BH13	農	(合併処理槽) 〈津島岡大第8次調査B地点〉	7.23～12.2	140	弥生土器・石器他，古代～近世水田	32
104	1992	1	津島北	AU～AW04	工	生体機能応用工学科棟 〈津島岡大第9次調査〉	7.1～93.1.29	650	縄文時代後期・弥生時代早期の貯蔵穴と河道・弥生時代～近世の水田址	47
108	1992・1993	2	津島南	BB～BC10～11	保	保健管理センター 〈津島岡大第10次調査〉	93.2.1～3.31, 4.17～7.31	400	弥生時代後期土壙等、弥生～古墳時代井戸・土壙、古墳時代住居址、近世耕地・野壷ほか	25・30
115	1993	2	津島北	AV～AW11～12	情	総合情報処理センター 〈津島岡大第11次調査〉	9.14～94.1.11	640	縄文後期～弥生前期竪穴状遺構，弥生中期水田址，古墳時代水田址ほか	36
127	1993・1994	1	津島北	AV～AW13～14	図	図書館〈津島岡大第12次調査〉	94.2.9～3.31、 4.1～11.30	1472	縄文時代土坑、弥生時代～古墳時代溝水田畦畔、古代溝・畦畔、中世溝ほか	33
134	1994・1995	2	津島北	AW～AX11～12	事	福利厚生施設北棟 〈津島岡大第13次調査〉	10.6～11.30, 95.7.10～10.4	816	縄文時代後期ピット、弥生時代水田、弥生～古墳時代溝、近代耕作面	41
144	1995	2	津島南	BB～BC12・13	事	福利厚生施設南棟 〈津島岡大第14次調査〉	10.25～2.14	856	弥生時代の水田、弥生～古墳時代の溝、土坑	46
147	1995・1996	3	津島北	AW00・01	サ	サテライトベンチャービジネスラボラトリー新営 〈津島岡大遺跡第15次調査〉	96.1.16～4.25	1600	縄文後期の貯蔵穴・竪穴住居・炉・ピット・土坑・河道　弥生早期の貯蔵穴・河道　弥生時代の水田・溝	38
153	1996	2	津島南	BD19～20	農薬	動物実験棟新営 〈津島岡大遺跡第16次調査〉	96.5.7～15	30.3	A地点：縄文時代と古墳時代の土坑。B地点：中世の溝、古代の柱穴列、弥生時代の水田	44
154	1996	3	津島北	AW02～04	環	環境理工学部新営 〈津島岡大遺跡第17次調査〉	96.5.21～1.9	1451	縄文時代後期の住居址・ピット群・土坑，弥生時代の溝・水田、古代の水田	44
173	1997	1	三朝		固	実験研究棟新営その他工事　本体工事部分〈福呂遺跡第1次調査〉	97.5.10～5.20, 7.28～31	269	縄文時代早期・弥生時代中期・中近世包含層・遺構確認。	55
174	1997	3	三朝		固	実験研究棟新営その他工事スロープ部分調査〈福呂遺跡第2次調査〉	97.11.25～12.5	120	近世・中世・古代の包含層・遺構確認。	55
175	1997・1998	4、1	鹿田	BR55～BX61・ BY56～57区	医	基礎医学棟新営 〈鹿田遺跡第7次調査〉	98.2.27～8.6	829	古墳時代初頭の住居・掘立柱建物等、中世の溝・ピット群・井戸、近世の水田・溝を確認。中世サル形木製品出土。	50・53
186	1998	2	津島南	BB11	事	福利施設（南）新営に伴うポンプ槽取設工事に伴う調査 〈津島岡大遺跡第18次調査〉	98.4.7～4.10	16	古代の溝状遺構	53
187	1998	3	津島北	AZ09・10	理	コラボレーションセンター新営に伴う調査 〈津島岡大遺跡第19次調査〉	98.7.27～ 99.2.18	1019	縄文後期遺構、弥生前期の河道、古墳時代の溝群，中世溝、近世道路状遺構・溝	53
188	1998	4	鹿田	BP～BS30～32	医病	RI治療室新営に伴う調査 〈鹿田遺跡第8次調査〉	98.7.28～9.1	156	古墳時代溝・中世溝	53
189	1998	5	津島北	AY07	環	校舎（Ⅰ期）新営に伴うポンプ槽取設工事に伴う調査 〈津島岡大第20次調査〉	98.10.19～28	16	黒色土上面溝、ピット，中世溝	53
190	1998	6	津島北	AX09	工	エレベーター設置に伴う調査 〈津島岡大遺跡第21次調査〉	98.11.6～24	30.2	縄文時代中期土坑、弥生時代早期～前期溝、古代土坑・溝確認。縄文後期石包丁状石器1点出土。	53
191	1998・1999	7	鹿田	CD33～37、CE・ CF28～37、CG～ CJ20～37、CK・ CL25～37	医病	病棟新営に伴う調査 〈鹿田遺跡第9次調査〉	98.11.27～ 99.5.11	2088	弥生時代水田畦畔・溝、古代耕作痕、中世溝・井戸・柱穴群・土壙墓，近世溝・井戸・土坑を確認。墨書のある杭・呪符木簡出土。	53
192	1998・1999	8	津島北	AW02・03	環	校舎（Ⅱ期）新営に伴う調査 〈津島岡大遺跡第22次調査〉	99.3.1～ 7.12	773.5	縄文後期河道・土坑・ピット群、弥生時代河道・水田畦畔、古墳時代溝、古代溝・水田畦畔、中世溝，近世溝・土坑を確認	53
210	1999	3	鹿田	CD・CE10－12, DD-DF16－22	医	共同溝設置に伴う調査 〈鹿田遺跡第10次調査〉	99.5.7～ 99.10.14	244.1	ヒューム管・高圧マンホール・PCボックスカルバート地点では古代の杭列、到達立坑部分では弥生ピット、近世溝。	56
211	1999	4	鹿田	CD-CM19－42	医病	病棟新営に伴う調査 〈鹿田遺跡第11次調査〉	99.8.19～12.22	2020	弥生時代水田畦畔、古代池状遺構、中世～近世溝・井戸・ピット群等確認	56

総合番号	年度	番号	遺跡名	調査地区	所属	調査名称	調査期間	面積(m²)	概要	文献
212	1999	5	津島北	AZ15・BA14	文法経	総合校舎新営に伴う調査〈津島岡大遺跡第23次調査〉	00.2.3～7.28	1339	縄文後期河道・杭列、弥生前期河道・堰・溝、弥生中期～古墳溝・ピット、中世～近世溝	56
249	2000	2	鹿田	CO–CV35－44、CN・CM38～41、CN28～38	医	エネルギーセンター新営工事に伴う調査〈鹿田遺跡第12次調査〉	00.10.2～01.05.10	1.3～1.8	弥生時代溝・河道、古墳時代土坑・溝、中世井戸・柱穴群・溝、近世土坑・溝	56·61
259	2000	3	津島北	AZ14	文法経	総合研究棟渡り廊下建設に伴う調査〈津島岡大遺跡第24次調査〉	00.12.5～14	3.5	縄文後期河道・杭列	61
267	2000	4	津島北	BA15	農	農学部散水施設設置工事に伴う発掘調査〈津島岡大遺跡第25次調査〉	01.1.29～31	2.4	中世～近世の溝・杭	61
274	2000	5	津島南	BC～BD14～15	事	事務局新営に伴う発掘調査〈津島岡大遺跡第26次調査〉	01.3.26～01.9.30	1550	近世の堰。縄文～弥生時代の河道・貯蔵穴・土坑・炉跡	56·61

附表２－（２）　試掘・確認調査

総合番号	年度	番号	遺跡名	調査地区	所属	調査名称	掘削深度	造成土厚	概要	文献
4	1983	1	津島南	BH13	農	合併処理槽予定地	2.5		弥生時代前期土器片〈83年度発掘〉	1
5	1983	2	津島南	BF17	農	排水管中間ポンプ槽予定地	3.5			1
8	1983	3	津島南	BE–BG14　BE・BH15　BE18 BF16～18	農	排水管埋設予定地	2.0		29ヶ所で試掘。弥生時代前期土器片〈83年度発掘〉	1
11	1983	8	津島北	AW05	工	校舎新営予定地	3.0	1	土器片出土	1
12	1983	5	津島南	BC・BD15	事	大学事務局新営予定地	2.0～3.0	0.9	土器片出土	1
13	1983	6	津島南	BB10	保	保健管理センター新営予定地	2.0～3.0	0.8	溝検出	1
14	1983	4	津島南	BF22・23	農	農場畜舎新営予定地	2.0～3.0	0.6	土器片出土〈1987年度工事立会〉	1
15	1983	7	津島南	BI16	事	津島宿舎新営予定地2.0	0.9	0.9	土器片出土〈1987年度工事立会〉	1
21	1984	1	鹿田	BU30・31	医病	西病棟北側受水槽予定地	1.4	0.5～0.7	中世土器・包含層確認〈盛土保存〉	2
22	1984	2	鹿田	CT・CU25 CZ19・20・23・24	医短	医療短期大学部校舎新営予定地	2.7	0.8～1.0	中世・古代の遺物出土〈1986年度発掘調査〉	2
23	1985	3	津島北	AV・AW99～01	学生	男子学生寮新営予定地	2.0～3.0	1	縄文時代～中世の遺構・遺物〈1986年度発掘調査〉	5
24	1985	2	津島北	AX02	教育	研究棟予定地	2.6～3.4	1.2	縄文～弥生時代土器出土	5
25	1985	1	津島南	BE08	教養	講義棟予定地	3.5	1.2	遺構・遺物未確認〈1986年度工事立〉	5
29	1985	4	鹿田	AJ33　AI40 AJ・AK26	医病	外来診療棟環境整備工事に先立つ範囲確認調査	2.2～3.0	0.9～1.4	弥生時代～中世の遺物	5
35	1986	3	津島南	BF・BG09	学生	屋内運動場新営予定地	2.4　1.2～1.7	1.1	弥生時代前期溝・中世河道検出〈1986年度発掘調査〉	6
37	1986	4	津島北	AY・AZ07	大自	自然科学研究科棟新営予定地〈1988年度発掘調査〉	1.6～3.2	0.6～0.8	縄文時代中期末～後期の遺構・遺物〈1988年度発掘調査〉	6
45	1987	4	土生	AP02	事	外国人宿舎建設予定地	2.2～2.8		近世・弥生時代・縄文時代の遺構面確認	8
46	1987	5	津島北	AV11	情	総合情報処理センター新営予定地	2.0～3.0	2	黒色土を標高2.2m前後で確認〈1993年度発掘調査〉	8
48	1987	6	津島北	AY09	理	身体障害者用エレベーター建設予定地	3.0～3.5	約1.0	近世・中世の遺物　中世・古代の水田址〈継続して発掘調査に及ぶ〉	8
49	1987	7	津島南	BD09	教養	身体障害者用エレベーター建設予定地	2.5	0.7	縄文時代土壙群を確認　縄文・中世・近世土器出土〈継続して発掘調査に及ぶ〉	8
61	1988	17	津島北	AX04・06 AW04	工	校舎建設予定地	2.0～3.5		黒色土を標高３m弱で確認。溝状遺構・水田址検出　縄文～近世土器出土〈1988年〉	11
62	1988	19	津島南	BD18・19	農薬	動物実験飼育施設及び遺伝子実験施設	2.3	1.1～1.2	黒色土を標高約2.3mで確認　溝状遺構・縄文～中世遺物検出	11
63	1988	20	津島南	BC29	事	国際交流会館	2.5	1.2	近世・中世の遺物出土〈1988年度工事立会〉	11
77	1989	3	津島北	AZ17	大自	合併処理槽設置予定地	4.0	1.6～2.0	中世～明治の水田の畦畔・溝〈1989年度工事立会〉	14
78	1989	4	津島南	BD02	学生	学生合宿所予定地	2.0～3.2	1	弥生時代早・前期の畦畔〈1989年度工事立会〉	14
79	1989	2	津島南	AZ・BA05	教育	身体障害者用エレベーター	2.5	0.8	縄文時代後弥生時代早期の落込み、縄文時代後期～中世土器片〈小規模発掘，面積38.5m²〉	14
83	1989	5	津島北	AV・AW13	図	図書館新営予定地	3.0	1.4～1.6	古代水田，弥生～古代の溝〈1993～1994年度発掘調査〉	14
87	1990	3	津島南	BC02	学生	学生合宿所ポンプ槽予定地	2.5	1.1	弥生時代前期畦畔，中世土器片	18
89	1990	4	倉敷地区		資生	資源生物科学研究所遺跡確認調査	2.5	0.7	中世後半以降の土器片	18
90	1990	5	鹿田	BY・BZ68	ア	アイソトープ総合センター予定地	2.3	1.2～1.3	中世土師質土器など〈1990・91年度発掘調査〉	18

総合番号	年度	番号	遺跡名	調査地区	所属	調査名称	掘削深度	造成土厚	概要	文献
91	1990	6	津島北	AW・AX11	事	福利厚生施設予定地	3.9	1.4～1.6	弥生～古墳時代の溝，中世土器小片	18
121	1993	3	津島南	BE~BF・22～23	農	農学部汎用耕地実験実習施設	1.5		中～近世耕土	30
136	1994	3	津島南	BD20	農薬	動物実験施設	2.0	0.9	GL－1.4mで黒色土、縄文土器一点出土	33
140	1995	4	津島南	BE26	事	国際交流会館新営予定地	4.1・2.4	1.6	造成土以下、明治・近世・中世と思われる土層確認。以下は湿地状。出土遺物なし。遺構は明治の畝のみ。	38
146	1995	5	津島北	AW02・03	環	環境理工学部新営	2.4	1.2	標高3.2mで黒色土上面。弥生時代の溝状遺構検出。	38
150	1995	6	津島南	BF07	学	ボクシング部ボックス移設	3.0	3	標高2.5mで黒色土確認。弥生～古墳時代の溝２条、古代溝１条確認。	38
176	1997	5，6	三朝		固	実験研究棟新営工事に伴う試掘調査	1.66～2.1	0.8	TP１では－1.4mでシルト質の層。以下砂層がラミナ状に堆積。TP２では弥生・近世の２枚の黒色層を確認。	50
177	1997	8	鹿田	BT57	医	基礎医学棟　鹿田第７次調査関連	2.2	0.9	中世・弥生時代の包含層を確認。	50
193	1998	9	津島北	AZ09	理	コラボレーションセンター新営に伴う試掘調査	2.7～3.4	1.3	標高2.7mで黒色土。弥生前期の河道、弥生時代以降の溝確認。	53
194	1998	10	津島北	AW02・03	環	校舎（Ⅱ期）新営に伴う調査	4.5	1.2	2.1mで黒色土。古代～古墳時代の溝確認	53
195	1998	11	鹿田	CF・CG43・44、CH25・26、CK35・36、CK15	医病	病棟新営に伴う調査	2.0～2.4	1.0	４ヶ所。中世２面、近世の遺構面を確認。中世段階は遺構密度が高い可能性。古墳時代以前については希薄か？	53
196	1998	12	倉敷地区		資生研	バイオ実験棟新営工事に伴う調査	1.5	0.4	近世干拓地内、遺構未確認	53
197	1998	13	津島北	AW04	工	システム工学科棟新営に伴う調査	2.8	1.0	1.8mで黒色土、縄文後期の遺構確認	53
198	1998	14	津島北	AU02。03・06、AV03	事	遺跡保護区整備に伴う調査	2.4～3.8	0.8～1.6	TP１，３，５は微高地状、TP２，４は低湿地状、TP１で弥生溝、TP３で弥生溝・ピット、TP４で中世溝。	53
213	1999	6	津島北	AZ15. BA14	文法経	総合校舎新営に伴う調査	①2.7,②3.5	①0.8 ②1.1	①標高2.2mで黒色土、以下礫混じり砂層＝微高地状、②標高1.9mで黒色土近似層、以下河道状の堆積確認	56
214	1999	7	津島北	AV08	工	電波暗室新営に伴う調査	1.2	0.2	現表土以下、基盤となる岩盤層	56
243	2000	6	津島北	AV00、AX00、02、　03、AZ06、AW08		縄文～弥生時代における環境復元に伴う調査	2.6～3.2	1.7～0.9	６カ所掘削、縄文・弥生時代の微高地、古代溝を確認	61
257	2000	7	津島北	BB14		創立50周年記念館新営に伴う調査	2	0.8	造成土厚0.8m。標高2.1mで黒色土を確認。	61

附表２－（３）　立会調査

総合番号	年度	番号	遺跡名	調査地区	所属	調査名称	掘削深度(m)	造成土厚(m)	概要	文献
1	1983	13	東山		教育	附属中学校新営	4.0～5.0		シルト層中	1
6	1983	23	鹿田	AO~AW22	医病	外来診療棟蒸気配管埋設	1.3		弥生時代後期土器・分銅形土製品、貝集積	1
20	1984	20	津島南	BI15～17	事	南宿舎合併処理槽関係配水管埋設	1.0～2.2	1.0	溝・土壙検出・弥生土器・須恵器	2
26	1985	6	鹿田	AW～BH23 BH・BI24	医病	外来診療棟関係屋外排水管埋設	1.3～1.7	0.7～1.3	中世・弥生の遺構・遺物を確認。	5
30	1985	12	鹿田	AG31　AG24 AF23	医病	基幹環境整備緑化工事　電気配線ハンドホール掘削	1.2～1.7	0.9～1.3	中世包含層・ピット。	5
33	1986	12	津島南	BE08・09	教養	校舎新営	2.3	1.3	中近世の溝・土器。	6
40	1986	21	津島南	BG08	学生	ハンドボールコート新設	0.2～2.0	0.8	黒色土確認	6
42	1986	24	鹿田	CL~CR12　CR~CX13　CX~DA14	医短	護岸及び囲障工事	2	0.8～1.0	中世包含層	6
43	1986	26	津島南	BF07・08	教養	校舎新営に伴う電気配管	1.8	0.9	中世包含層	6
44	1987	8	鹿田	BC37	医病	管理棟新営に伴う基礎杭確認	2.5		弥生時代包含層・遺構確認。	8
66	1988	17	津島南	BG10・11	教養	テニスコート夜間照明施設	2.2	1.5	黒色土を表土下約２mで確認。西に向かう落ちを推定。	11
74	1989	8	津島北	AZ08	大自	自然科学研究科棟新営　工事用道路	1.4		弥生時代後期水田・溝確認。	14
75	1989	10	津島北	AU05	工	校舎新営に伴う電柱架設	1.9	1.0	黒色土確認	14
80	1989	46	鹿田	CE30・37・44 CJ・CK45 CL28・29	医病	旧管理棟跡地環境整備　外灯基礎掘削	1.2～1.5	0.7～1.0	中世層を確認。	14
85	1990	16、19	津島北	AV04～10	事	岡山市道本町津島東線拡幅に伴う補償工事Ⅰ　電柱移設	0.4～3.0	0.6～1.4	５ヶ所。黒色土層、条里溝。〈1989年度試掘調査済〉	18

総合番号	年度	番号	遺跡名	調査地区	所属	調査名称	掘削深度(m)	造成土厚(m)	概要	文献
88	1990	20	津島北	BC02～04 BD03・04	事	岡山市道本町津島東線拡幅に伴う補償工事Ⅰ　学生合宿所給排水管設置	2.3	1.2	GL－2.3mで黒色土確認。	18
95	1991	9	津島南	BC18	遺	防火用水撤去	2.0	0.8	基盤層まで掘削。石鏃出土	21
99	1991	17	津島南	BB16	事	津島地区基幹整備（電気）ハンドホール・アース板	1.7～1.8	0.5	明治層～淡灰色粘土層	21
101	1991	19	津島北	BD15	事	津島地区基幹整備（電気）アース板埋設	1.7	1.0	GL－1.5mで黒色土上面	21
102	1991	40	津島南	BC・BE・BF12	事	南北道路街灯設置	1.5		3ヶ所。GL－1.4mで古代層確認	21
105	1992	15	津島南	BD18・19	遺	遺伝子実験施設ハンドホール設置	0.7～1.5		8ヶ所のうち1箇所のデータ有効。GL－0.75m～－1.1mで明治層上面　縄文後期層まで，溝2本検出	25
107	1992	28	鹿田	BU65　BU－BC66　BC67－72 BW・CA71	ア	アイソトープセンター集水枡・ヒューム管設置	1.4～1.5		GL－0.9mで明治層上面，中世溝1	25
110	1992	34	津島北	AV12	事	附属図書館北側駐車場整備	3	1.7	造成土以下粘土層	25
113	1992	41	鹿田	CI73	医	テニスコート脇電柱埋設	1.2	1.0	古代土器1点	25
118	1993	17	津島南	BB～BC・10～12	保	保健管理センター新営に伴う外構工事ほか　電気配線	1.8	0.6～0.7	明治層以下保健管理センター本調査と同じ層序，黒褐色土は－1.15～1.7m，その直下に基盤層	30
119	1993	23	津島北	BA07	事	津島地区基幹整備　RI共同利用施設排水処理施設他設置	3.2		明治～中世層　暗褐色土層確認古代溝？；縄文晩期？土器片	30
120	1993	28	津島南	BD～BE13	事	津島地区環境整備　南北道路沿水路ボックスカルバート敷設	1.5	1.0	明治層，中世～近世層を確認	30
122	1993	39－41	津島南	BB05～07 BC05　41	学生	野球場バックネット・防球ネット改修	2.0～3.2	1.0	－1.2～2.0m付近で黒色土を確認；以下は黄色砂～青灰色粘土	30
124	1993	33	津島南	BB~BG・12～13	事	津島地区環境整備　水銀灯設置	1.8	0.5～1.2	10ヶ所。近世～中世層まで掘削。一部で暗褐色土層を確認	30
125	1993	17、19	津島南	BB11	保	保健管理センター新営に伴う旧棟改修・電気配線	1.1	0.8	明治層，確認　弥生土器片	30
126	1993	34	津島南	BD～BE12・13	事	津島地区環境整備信号機設置	1.6	1.0	明治層以下、近世から中世層、一部で暗褐色土層。	30
129	1994	5	鹿田	DH60～62	医	護岸改修工事1.5	1.5	0.8	造成土以下明治・近世？層各一層、以下はすべて遺構埋土の可能性あり。溝3条、ピット9確認。	33
131	1994	9	津島南	BD・BE・ BF04～07	事	陸上競技場照明灯設置	2	0.96	照明ポール（径80cm－深さ10m）オーガー掘削。GL－1.92～2.00mで黒色土確認。	33
133	1994	13	津島北	AV10・AW10・ AU11	情	総合情報処理センター新営電気工事	2.2	1.5	明治1面、近世2面、中世（近世か？）1面。近世溝確認。GL－1.7で黒色土確認。	33
137	1994	20	津島南	BD20	農	焼却場	2.2	1.5	GL－1.9mで黒色土確認。	33
141	1995	11	鹿田	BF17・18	医病	鹿田地区基幹整備附属病院連絡通路新設	1.5	1.0	造成土以下茶褐色土、青灰色粘質土層、遺物なし	38
145	1995	14	鹿田	CD07・08	医病	鹿田地区基幹整備液酸タンク設置工事	2.3	1.0	中世遺構面2面確認。溝3条確認。中世基盤層がしっかりしている。溝内から中世・古代の土師器出土。	38
148	1995	17	鹿田	CC・CD08～10	医病	鹿田地区基幹整備附属病院液酸タンクU字溝埋設工事	1.23	0.85	包含層確認。中世の土器細片採取。既設管、基礎などで遺存部分は区間全長の1／2程度	38
149	1995	23	鹿田	DF56～67	医	防球ネット取設工事	3	0.8	径60cmを12箇所。4箇所で土器片、石器の採取あり。調査区西寄りは、GL－2m以下が旧河道か。	38
152	1996	4	津島南	BC18	農薬	動物実験棟新営に伴う造成土取り	2.2	1.9	黒色土層付近まで掘削	44
155	1996	5	津島南	BD16～19	農薬	動物実験棟新営に伴うハンドホール設置工事	1.3		4箇所。造成土以下5層確認	44
160	1996	12	津島北	AV02，AV03， AV04，AV99， AW02，AW04	サ	サテライトベンチャービジネスラボラトリー新営外灯設置工事	1.0～1.5	0.76～1.1	6箇所。明治層2面、近世層2面、中世層？1面、弥生層？1面確認	44
161	1996	13	津島北	AV03～AW03	サ	サテライトベンチャービジネスラボラトリー新営排・配管設置工事	2	0.95	弥生時代の層まで掘削。古墳時代前期の遺構・遺物確認	44
164	1996	18	津島北	AW03	環	環境理工学部新営予定地電柱移設工事	2		黒色土まで掘削	44
169	1996	25	津島北	AV13	図	附属図書館新営雨水桝・外構工事	1.3	1.0	造成土以下、青灰色粘質土、黄褐色粘質土、灰褐色粘質土を確認	44
178	1997	9	三朝		固	実験研究棟新営に伴う擁壁部分	0.5		斜面部分にトレンチ3箇所。地山確認。	50
179	1997	10	三朝		固	実験研究棟新営に伴う根伐工事部分	4.0	1.5	GL－1.5mで包含層確認。弥生土器片採集。	50
180	1997	11	三朝		固	実験研究棟新営に伴う本体工事部分	2.0～2.5		工事範囲内未調査のうちに1／2掘削済。壁面で遺構確認。	50
181	1997	16	津島南	BB13～BH13	事	南北道路ガス管埋設工事	1.5		中世層まで掘削。	50

総合番号	年度	番号	遺跡名	調査地区	所属	調査名称	掘削深度	造成土厚	概要	文献
182	1997	18	三朝		固	実験研究棟新営に伴う電気埋設管路工事	1.0		1.0で中世層。包含層は東に向かい上面レベルが上昇。	50
183	1997	19	津島南		事	南北道路ガス管埋設工事	1.5		中世の粘土層検出。	50
184	1997	24	津島南	BC12	事	福利厚生施設新営に伴う共同溝新設工事	2.0	0.8	GL−1.65mで黒色土確認。近世・中世・古代、古代の溝確認。	50
185	1997	29	東山		教	教育学部附属小・中学校他囲障改修工事	1.2	0.79	GL−1.1mで水田確認。溝1条。	50
199	1998	15	津島北	BA09	事	構内外灯設置工事	1.47	1.0	GL−1.42mで黒色土上面	53
200	1998	22	津島北	AZ09, BA09	理	コラボレーションセンター支障配管布設替工事	1.4	1.0	1.4mで黒色土上面	53
201	1998	24	津島南	BB12, BC12	事	南福利街灯設置工事	1.4	0.95	中世層まで掘削	53
202	1998	31	津島北	AX03−AY06	環	校舎新営に伴うガス管埋設工事	1.2〜1.4	0.65〜0.95	中世層まで掘削	53
203	1998	34	津島南	BC10	事	学生会館改修に伴うトラップ桝撤去工事	2.2	1.45	GL−1.7mまで灰褐色粘土層、2.2mまで青灰色粘土層	53
204	1998	35	津島北	BA00	事	NTT電柱移設工事	1.5	0.9	造成土以下、褐色系粘質土	53
205	1998	36	鹿田	BV73　CN78	医	校舎新営に伴う仮設電柱工事	1.2	1.0	中世層まで掘削	53
206	1998	41	津島北	AX03−AY07	環	実験排水管埋設工事	1.4	0.6〜1.4	9地点のうち5地点で中世層まで、2地点で古代層、1地点で古墳時代層まで掘削	53
207	1998	42	津島北	AU02, AW02	環	馬場移設に伴う樹木移植	2.2	1.1〜1.3	2.0mで弥生後期層、2.2mで縄文基盤層まで掘削	53
208	1998	44	津島北	AV03, AW03	環	校舎新営に伴う生活排水桝設置工事	1.97	1.4	古墳時代層まで掘削、須恵・土師器片採集。	53
209	1998	48	津島北	AW03	環	校舎新営に伴うガス管埋設工事	1.45	1.0	中世層まで掘削	53
215	1999	8	津島北	—	施	構内外灯設置工事	1.15〜1.35	0.5〜1.2	28箇所。うち3箇所で黒色土確認。	56
216	1999	10	津島北	AW02.03	環	校舎（Ⅱ期）新営に伴う生活排水・実験排水桝	0.8〜1.5	1.18〜1.25	15箇所。うち1箇所で中世層まで掘削	56
217	1999	12	津島北	AZ08.09	理	コラボレーションセンター新営工事に伴うハンドホール	1.48〜2.1	1.03〜1.16	2箇所。うち1箇所で古墳時代層まで掘削	56
218	1999	13	津島北	AW02	環	校舎（Ⅱ期）新営に伴うスロープ設置工事	3.5	1.2	面積25m²。黒色土下面を精査。近代土坑、古代溝、縄文後期ピット確認	56
219	1999	15	鹿田	BV65−71	医	研究棟新営に伴う給排水桝・管	1.2〜1.4	0.9	中世層まで掘削	56
220	1999	18	鹿田	BU65	医	研究棟新営に伴う検水槽	2.2	1.1	面積8.2m²。近世溝、中世溝・ピット確認	56
221	1999	27	鹿田	BY42−44, BI43・44	医病	基幹整備（電気設備）地中配管	1.25〜1.45	0.45〜0.5	中世層まで掘削、時期不明の遺構埋土確認	56
222	1999	41	鹿田	CF21−28, CF−CL28, CD−CF28−33	医病	病棟新営に伴う共同溝解体	1.7		面積18m²、鹿田11事調査3区南側部分で中世ピット確認	56
223	1999	38	津島	AZ09	理	コラボレーションセンター新営に伴う排水桝	1.0〜1.2	0.8〜1.0	6箇所。うち1箇所で黒色土対応層まで掘削	56
224	1999	46	鹿田	CN46, CW46, DA46	医病	病棟新営に伴う汚水桝	2.3	1.2	古墳時代井戸1基、土坑1基、中世溝等の遺構確認	56
225	1999	47	鹿田	CM・CN・CP・CR・CT58, CV・DA・DC・DD・DF59	医	グラウンド防球ネットポール	2.0〜2.3		11箇所。南から6箇所は河道状、7−10箇所は微高地状、最北端では河道状	56
226	1999	48	鹿田	BT51	医病	病棟新営に伴う汚水検水桝	2	1	造成土以下7層確認、古墳時代層まで掘削か	56
228	2000	10	鹿田	CW−DA32−43	医病	病棟新営工事−保育施設改修−	0.7〜0.95	0.7	既掘工事内、GL−0.7mで明治期の包含層、黄褐色粘質土（上層）、暗灰色粘質土（下層）	61
230	2000	12	津島北	AX03、AZ02	環	環境理工学部（Ⅱ期）新営工事、ヒマラヤスギ移植	0.6〜0.7	0.5	GL−0.5mで灰色粘質土、橙褐色土を検出	61
231	2000	13	鹿田	AE30、AE35、AE−AH42−44、AE48	医病	医病外構水銀灯新設工事	1.0〜1.1	0.5〜1.0	4箇所掘削、うち2箇所は造成土直下に白灰色砂質土が堆積	61
234	2000	14	鹿田	AE46	医	天然ガス切替に伴う配管切り離し及びバルブ設置工事	1.3〜1.5	1.0〜1.1	造成土下に灰褐色粘質土層を確認	61
233	2000	15	津島北	AU07		J−Phone中国株式会社　津島自動車・携帯電話基地局ボーリング接地工事　建柱工事施工	2.7		精密応用工学科の西側、地山	61
236	2000	17	津島北	BA12	事	津島地区電柱工事	1.6	1.0	造成土下に灰色粘質土、暗茶褐色粘質土層確認	61
241	2000	22	津島北	AX02、AV03	環	岡山大学環境理工学部校舎（Ⅱ期）新営工事	0.7〜1.0	0.7	造成土下に灰褐色粘質土を確認	61
242	2000	23	津島北	AY09	理	岡山大学（理）校舎改修工事−理学部本館基礎補強工事−	1.3	0.9	造成土下に暗青灰色粘質土、黄褐色粘質土、灰色粘質土が堆積	61
246	2000	25	鹿田		医	岡山大学（医病）病棟新営その他工事（管路・雨水桝）			溝と思われる遺構など確認	61
248	2000	26	鹿田	CN15, 22, 27、CO36, 43、CS45、CV45	医	電柱及び外灯の埋設工事	1.6		灰白色土層、淡褐色砂質土層、暗褐色砂質土層を確認、いずれもしまり良く微高地付近と思われる	61

総合番号	年度	番号	遺跡名	調査地区	所属	調査名称	掘削深度	造成土厚	概要	文献
247	2000	28	津島北	AY10、AZ10	理	岡山大学（理）校舎改修機械設備工事（電気）	0.85～1.60	0.8～1.1	南側ハンドホールはGL－1.6mまで掘削し、GL－1.52mで中世溝検出、南東から北西方向に向かって走行	61
250	2000	29	鹿田	DJ27	医	医学部ガス配管切り離し用バルブ取付工事	0.8～1.15	0.7	GL－0.7mで暗青灰色粘質土、－0.85mで黄灰色粘質土確認	61
266	2000	42	津島北	AW08、AX08	工	岡山大学（工）精密応用化学科棟都市ガス改修工事	1.6～2.05	1.45	GL－1.45mで暗青褐色粘質土（明治耕土）、GL－1.82mで明灰褐色粘土（中世層？）確認	61
269	2000	44	津島北	BA15, 16		総合研究棟仮設電柱建柱工事	1.5～1.7	1.0	GL－1.4mで中世層？陸軍庭園の築山、土塁を一部掘削	61
262	2000	47	鹿田	DG–DJ28－67	医病	鹿田団地南側用水路境界擁壁改修	2.1～2.3	1.3～1.5	120mにわたって壁面観察を行い図化、古代の河道、遺構を確認	61

附表3　収蔵遺物概要

所属	種類	地区 調査名称	箱数（1箱：約30リットル） 総数	土器	石器	木器*	種子*	その他	サンプル*	備考	文献
医病	発掘	鹿田第1次調査　（外来診療棟）	598	493	15.5	60	0.5	1	28	弥生中期～中・近世　短甲状・櫂状木器等	7
〃	〃	鹿田第2次調査（NMR－CT室）	118.9	94	0.4	20	0.5		4	弥生後期～中世，田舟・木簡等	〃
医短	〃	鹿田第3次調査（校舎）	131.6	36	0.3	90	0.3		5	古代～中世	10
〃	〃	鹿田第4次調査（配管）	3.5	2	0.3		0.2		1	古代，鹿角製品	〃
医病	〃	鹿田第5次調査（管理棟）	130	87	2.5	20	1.5		19	弥生後期～中・近世	24
ア	〃	鹿田6次調査（アイソトープ総合センター）	62	59	0.5	1	1.5			中世，青銅製椀	40
医	〃	鹿田第7次調査　（基礎医学棟）	81	66		10		1	4	弥生～近世	53
医	〃	鹿田第8次調査（RI治療棟）	8	8						弥生～近世	53
医病	〃	鹿田第9次調査（病棟）	120.1	96	0.1	13		9	2	弥生～近世，木簡3点	56
医病	〃	鹿田第10次調査（共同溝）	2	2						古代～近世	56
医病	〃	鹿田第11次調査（病棟Ⅱ期）	74	66		4		2	2	弥生～近世，木簡1点	56
医	〃	鹿田第12次調査（エネルギーセンター）	132	77	1	54			15	弥生～近世，櫛	
全	〃	津島岡大第1次調査（NP－1）	5	0.5	0.5	4				弥生中期～古代	30 33 38 43 48
農	〃	津島岡大第2次調査（農学部合併処理槽・配管）	17.5	12	1.5				4	縄文晩期～弥生前期	4
学生	〃	津島岡大第3次調査（男子学生寮）	67	49	1.5	2	4.5		10	縄文後期～弥生，古代～近世　石製指輪，蛇頭状土器片	19
〃	〃	津島岡大第4次調査（屋内運動場）	1	1						縄文晩期～弥生前期〈試掘調査遺物を含む〉	6
大自	〃	津島岡大第5次調査（大学院自然科学研究科棟）	82	68	3	1	8		2	縄文後期～弥生，古代～近世耳栓・木製櫛（縄文）	27
工	〃	津島岡大第6次調査（生物応用工学科棟）	49	33	1	9	6			縄文後期～近世，人形木器，アンペラ	35
工	発掘	津島岡大第7次調査（情報工学科棟）	31.5	10	0.5	1			20	縄文後期～近世	35
全	〃	津島岡大第8次調査（遺伝子実験施設）	11.5	10	0.5				1	縄文後期～近世	32
工	〃	津島岡大第9次調査（生体機能応用工学科）	50.5	30	2.5	3			15	縄文後期～近世	47
全	〃	津島岡大第10次調査（保健管理センター）	84	69		5			10	弥生前期～近世	30
〃	〃	津島岡大第11次調査（総合情報処理センター）	5.5	3	0.5				2	縄文後期～近世	36
〃	〃	津島岡大第12次調査（図書館）	55	24	1	20			10	縄文後期～近世	33
〃	〃	津島岡大第13次調査（福利厚生施設　北）	12.5	12	0.5					縄文後期・古墳前期・中世	41
〃	〃	津島岡大第14次調査（福利厚生施設　南）	13	12					1	弥生～古墳	46
〃	〃	津島岡大第15次調査（サテライトベンチャービジネスラボラトリー）	67	13	10	20			24	縄文後期・晩期・弥生～中世　アンペラ	38
農薬	〃	津島岡大第16次調査（動物実験棟）	0.3	0.3						縄文後期・弥生～中世	43
環	〃	津島岡大第17次調査（環境理工学部校舎Ⅰ期）	76	61	3				12	縄文後期～近世	43
全	〃	津島岡大第18次調査（南福利ポンプ槽）	1	1						縄文後期～近世	53
	〃	津島岡大第19次調査（コラボレーションセンター）	45	24	1	4		2	14	縄文後期～近世	53
環	〃	津島岡大第20次調査（環境理工学部ポンプ槽）	1	1						縄文後期～近世	53

所属	種類	地区 調査名称	箱数（1箱：約30リットル） 総数	土器	石器	木器*	種子*	その他	サンプル*	備考	文献
工	〃	津島岡大第21次調査 （工学部エレベーター）	7	5	2					縄文中期～近世	53
環	〃	津島岡大第22次調査 （環境理工学部校舎Ⅱ期）	34	26	2	3			3	縄文後期～近世、古代堰部材、曲げ物	53
文法経	〃	津島岡大第23次調査 （総合研究棟）	127	29	1	90	2		5	縄文後期～近世，石棒	56
文法経	〃	津島岡大第24次調査 （総合研究棟渡り廊下）	2.1	1	0.1	1				縄文後期～近世	61
農	〃	津島岡大第25次調査 （農学部散水施設）	0.3	0.1		0.2				中・近世	61
事	〃	津島岡大遺跡第26次調査 （事務局本部棟）	41	26		5			10	縄文後期～近世	61
固	〃	福呂遺跡第１次調査（実験研究棟）	9	8					1	縄文早期・弥生中期・中世	55
固	〃	福呂遺跡第２次調査 （実験研究棟スロープ）	2.1	2				0.1		中世～近世	55
医病	試堀・確認	鹿田　駐車場	1	1						弥生～中世	5
学生	〃	津島北　男子学生寮	1	0.7	0.3					縄文後期～弥生前期	〃
教育	〃	〃　研究棟									
大自	〃	〃　自然科学研究科棟	1	1						縄文後期～弥生前期	6
事	〃	津島　外国人宿舎（土生）	1	1						縄文～中世	8
理	〃	津島北　身障者用エレベーター	0.3	0.3						中・近世	〃
教養	〃	津島南　〃	0.7	0.7						縄文・中世	〃
工	〃	津島北　校舎	1	1						縄文～近世	11
農薬	〃	津島南　動物・遺伝子実験施設	0.7	0.7						縄文～弥生，中・近世	〃
事	〃	津島南　国際交流会館	0.3	0.3						中世	〃
大自	〃	津島北　合併処理槽	0.2	0.2						中・近世	14
学生	〃	津島南　学生合宿所	0.4	0.2					0.2	中世	〃
教育	試堀・確認	津島北　身障者用エレベーター	0.3	0.3						縄文	〃
図	〃	〃　図書館	0.8	0.8						古墳～中世	〃
学生	〃	津島南　学生合宿所ポンプ槽	0.4	0.4						縄文～中世	18
資生	〃	倉　敷　資源生物科学研究所	0.1	0.1						近世	〃
ア	〃	鹿　田　アイソトープ総合センター	1	1						中世～近世	〃
事	〃	津島北　福利厚生施設	0.5	0.5						弥生？～中世	〃
農	〃	津島南　動物実験施設	0.1	0.1						縄文？～近世	33
環	〃	津島北　環境理工Ⅱ期	0.1	0.1							53
工	〃	津島北　システム工学科棟	0.1	0.1							53
全	立会	83年度	2	2						分銅形土製品	1
〃	〃	84年度	1	1							2
〃	〃	85年度	1	1							3
〃	〃	86年度	0.5	0.5							6
〃	〃	87年度	0.5	0.5							8
	分布	89年度　三朝・本島	0.3	0.3							14
全	立会	91年度　92年度	0.3	0.3							21　25
〃	〃	93年度　94年度　95年度　96年度 97年度　98年度　99年度	0.8	0.8							30　33 38　43 48
〃	〃	00年度	3	3							
		総箱数	2379.3	1636.8	53	440.2	25	15.1	224.2		

＊木器・種子・サンプルについては、資料整理が進むにつれ、特に収容形態が変化するため、箱数の変化が顕著であることを断っておく。

附表４　埋蔵文化財調査室刊行物

番号	名称	発行年月日
1	岡山大学構内遺跡調査研究年報　1　1983年度	1985年２月
2	岡山大学構内遺跡調査研究年報　2　1984年度	1985年３月
3	岡山大学津島地区小橋法目黒遺跡（AW14区）の発掘調査　岡山大学構内遺跡発掘調査報告第１集	1985年５月
4	岡山大学津島地区構内遺跡発掘調査報告Ⅱ　（農学部構内BH13区他）岡山大学構内遺跡発掘調査報告第２冊	1986年３月
5	岡山大学構内遺跡調査研究年報　3　1985年度	1987年３月
6	岡山大学構内遺跡調査研究年報　4　1986年度	1987年10月

附表５　埋蔵文化財調査研究センター刊行物

番号	名称	発行年月日
7	鹿田遺跡Ⅰ　岡山大学構内遺跡発掘調査報告第３冊	1988年３月
8	岡山大学構内遺跡調査研究年報　5　1987年度	1988年10月
9	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報第１号	1988年10月
10	鹿田遺跡Ⅱ　岡山大学構内遺跡発掘調査報告第４冊	1990年３月
11	岡山大学構内遺跡調査研究年報　6　1988年度	1989年10月

番号	名　　称	発行年月日
12	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報第２号	1989年８月
13	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報第３号	1990年２月
14	岡山大学構内遺跡調査研究年報　7　1989年度	1990年11月
15	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報第４号	1990年７月
16	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報第５号	1991年３月
17	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報第６号	1991年８月
18	岡山大学構内遺跡調査研究年報　8　1990年度	1991年12月
19	津島岡大遺跡　3　岡山大学構内遺跡発掘調査報告第５冊	1992年３月
20	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報第７号	1992年３月
21	岡山大学構内遺跡調査研究年報　9　1991年度	1992年12月
22	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報第８号	1992年８月
23	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報第９号	1993年３月
24	鹿田遺跡　3　岡山大学構内遺跡発掘調査報告第６冊	1993年３月
25	岡山大学構内遺跡調査研究年報　10　1992年度	1993年12月
26	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報第10号	1993年11月
27	津島岡大遺跡　4　岡山大学構内遺跡発掘調査報告第７冊	1994年３月
28	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報第11号	1994年３月
29	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報第12号	1994年10月
30	岡山大学構内遺跡調査研究年報　11　1993年度	1995年２月
31	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報第13号	1995年３月
32	津島岡大遺跡　5　岡山大学構内遺跡発掘調査報告第８冊	1995年３月
33	岡山大学構内遺跡調査研究年報　12　1994年度	1995年12月
34	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報第14号	1995年10月
35	津島岡大遺跡　6　岡山大学構内遺跡発掘調査報告第９冊	1995年12月
36	津島岡大遺跡　7　岡山大学構内遺跡発掘調査報告第10冊	1996年２月
37	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報第15号	1996年３月
38	岡山大学構内遺跡調査研究年報　13　1995年度	1996年10月
39	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報第16号	1996年10月
40	鹿田遺跡　4　岡山大学構内遺跡発掘調査報告第11冊	1997年３月
41	津島岡大遺跡　8　岡山大学構内遺跡発掘調査報告第12冊	1997年３月
42	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報第17号	1997年３月
43	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報第18号	1997年９月
44	岡山大学構内遺跡調査研究年報　14　1996年度	1997年11月
45	今、よみがえる古代　岡山大学埋蔵文化財調査研究センターの10年	1997年11月
46	津島岡大遺跡　9　岡山大学構内遺跡発掘調査報告第13冊	1997年12月
47	津島岡大遺跡　10　岡山大学構内遺跡発掘調査報告第14冊	1998年３月
48	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報第19号	1998年３月
49	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報第20号	1998年10月
50	岡山大学構内遺跡調査研究年報　15　1997年度	1999年１月
51	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報第21号	1999年３月
52	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報第22号	1999年９月
53	岡山大学構内遺跡調査研究年報　16　1998年度	2000年１月
54	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報第23号	2000年３月
55	福呂遺跡Ⅰ　岡山大学構内遺跡発掘調査報告第15冊	2000年３月
56	岡山大学構内遺跡調査研究年報　17　1999年度	2000年８月
57	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報第24号	2000年９月
58	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター自己評価・外部評価報告書	2000年12月
59	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報第25号	2001年３月
60	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報第26号	2001年８月
61	岡山大学構内遺跡調査研究年報　18　2000年度	2001年10月
62	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報第27号	2002年３月

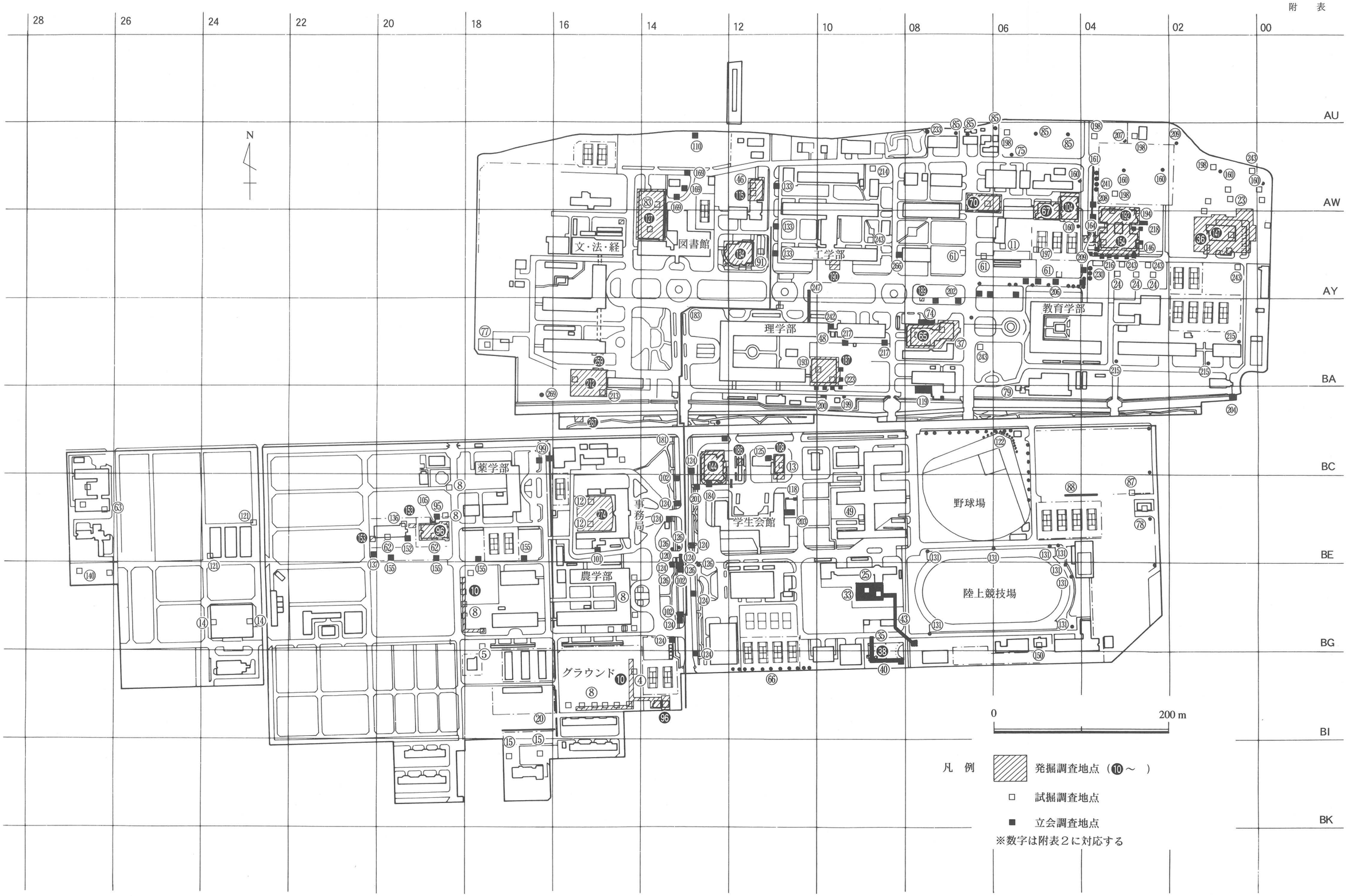
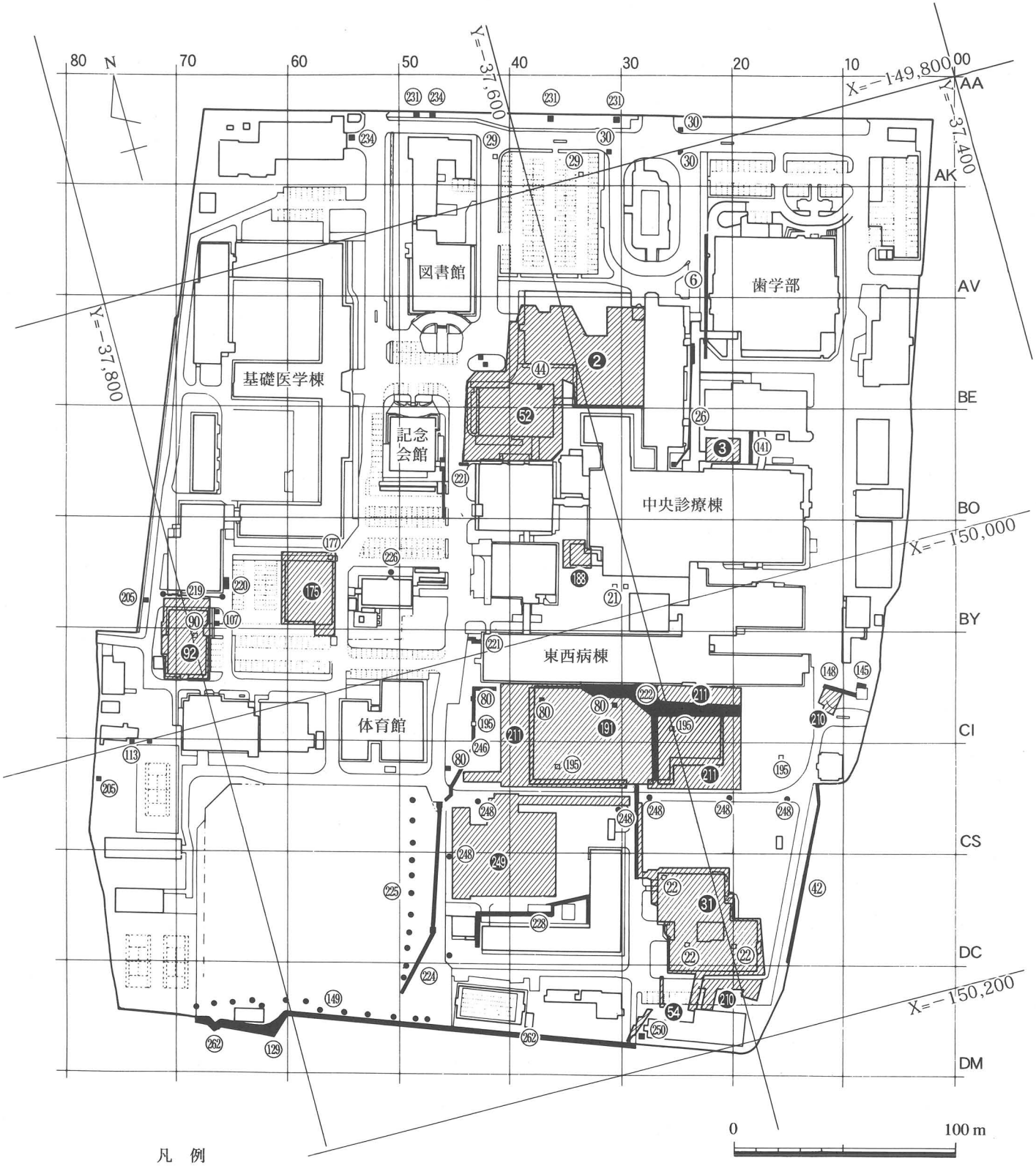


図16　2000年度までの調査地点（１）津島地区（縮尺１/4000）



凡　例

発掘調査（❷～　）

確認調査

立会調査

※数字は附表２に対応する

図17　2000年度までの調査地点（２）鹿田地区（縮尺１/2500）

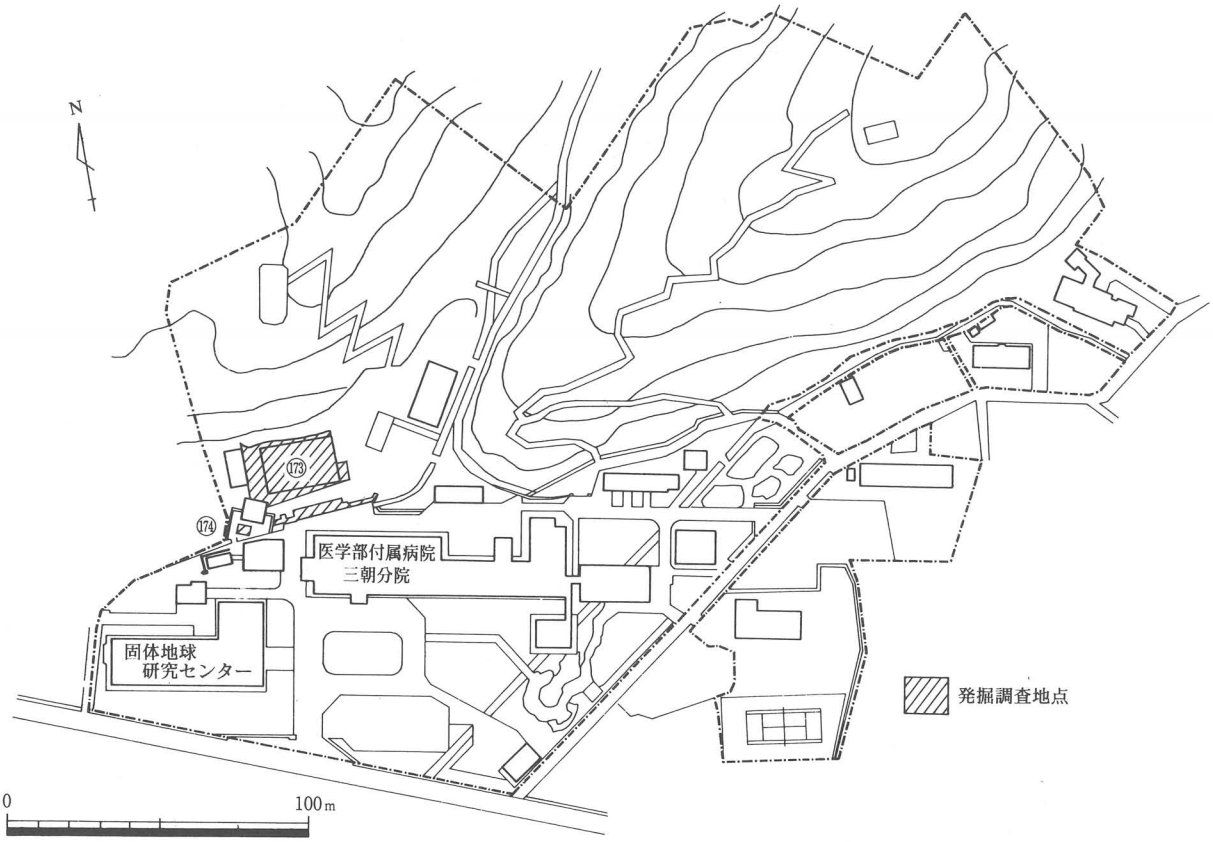


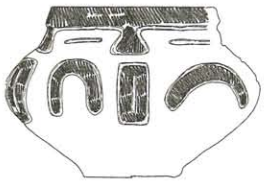
図18　1998年度までの調査地点　三朝地区（縮尺１/2500）

Copyright©Archaeological Research Center, Okayama University
Printed in Okayama, Japan

2003年３月28日　発行

岡山大学埋蔵文化財調査研究センター紀要
2001

編集・発行　岡山大学埋蔵文化財調査研究センター
岡山市津島中３丁目１番１号
（086）251－7290
印刷　西日本法規出版株式会社



BULLETIN of Archaeological Research Center Okayama University 2001

Archaeological Research Center, Okayama University
3-1-1 Tsushima-Naka Okayama-city, 700-8530 Japan
http://www.okayama-u.ac.jp/user/arc/archome.html